

# 目次

[概要](#)

[はじめに](#)

[表記法](#)

[前提条件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[shutdownコマンドを使用して下さい](#)

[Windows NT シャットダウンユーザインターフェイスを使用して下さい](#)

[関連情報](#)

## 概要

このドキュメントでは、shutdown コマンドまたは Windows NT のシャットダウン ユーザ インターフェイスを使用して、Microsoft Windows NT が稼働している Cisco Intelligent Contact Management ( ICM ) リモート システムをシャットダウンするか、またはリブートする方法について説明します。

注Cisco Technical Assistance Center ( TAC ) エンジニア、または指示されたとき [Cisco ICM テクニカル ティップ](#)によって指示されたときだけだけこのプロシージャに従う必要があります。

## [はじめに](#)

### [表記法](#)

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

### [前提条件](#)

このドキュメントの読者は次の項目に関する知識が必要です。

- Cisco ICM
- Microsoft Windows ネットワーク

### [使用するコンポーネント](#)

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- Cisco ICM のすべてのバージョン

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな ( デフォルト ) 設定で作業を開始しています。対象のネットワークが実稼働中である場合には、どのような作業についても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

## shutdownコマンドを使用して下さい

[Telnetセッション](#)で Cisco ICM リモート システムをシャットダウンする shutdownコマンドを使用できます。

注計画保守ウィンドウの間に shutdownコマンドを使用して下さい。

出力は下記の shutdownコマンドのために利用可能な オプションを説明したものです。

```
C:\>shutdown /?Usage: SHUTDOWN [machine] [/M:message] [/D:delay] [/Force] [/Reboot] [/Cancel]---
-----
where:
machine is the network name of the computer to shutdown
message is displayed
in the shutdown dialog
delay is the amount of time to wait before shutting
down
/Force Forcibly closes all applications
/Reboot
Restarts the machine immediately after shutdown
/Cancel Cancels an existing
shutdown order
```

次の例では、shutdownコマンドは「geociscolgra」と呼ばれるマシンをシャットダウンし、リブートする筈だ。

```
C:\>shutdown \\geociscolgra /force /reboot
```

## Windows NT シャットダウンユーザインターフェイスを使用して下さい

コンピュータを Microsoft Windows NT シャットダウンユーザインターフェイスを使用して再起動するために、>シャットダウンされる>再始動コンピュータ 『Start』 をクリックして下さい。

## 関連情報

- [テクニカルサポート - Cisco Systems](#)